

健康社会研究センター ニューズレター 第 45 号

2018.7.20 発行

◆ 目次 ◆

- 1 最新のお知らせ
- 2 主な研究成果発表
- 3 研究会のお知らせ

健康社会研究センターは JAGES(日本老年学的評価研究)の事務局の 1 つとして、下記のような活動に取り組んできました。

1. 最新のお知らせ

・NHK スペシャル取材による新書「健康格差」の全文公開が始まりました

2017 年 11 月 27 日(月)から 6 日間、各メディアで 1 章ずつ本書の公開を行いました。

NHK スペシャル取材班(本書の「はじめに」<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/53460> は 11 月 13 日(月)に現代ビジネスで公開いたしました)

【人の寿命はカネ次第...!? ニッポンの「健康格差」深刻な実態】冒頭に、JAGES(Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究)プロジェクトの知見が紹介されています。

- 第 1 章 11 月 27 日(月) 日経ビジネスオンラインにて公開
- 第 2 章 11 月 28 日(火)ダイヤモンド・オンラインにて公開
- 第 3 章 11 月 29 日(水) プレジデントオンラインにて公開
- 第 4 章 11 月 30 日(木) 東洋経済オンラインにて公開
- 第 5 章 12 月 1 日(金) Business Insider Japan にて公開
- 第 6 章 12 月 2 日(土) ハフポスト日本版にて公開

・2017 年 11 月 25 日(土)マーモット先生のセミナーが開催されました

日時: 2017 年 11 月 25 日(土) 17:00

場所: 一橋講堂特別会議室(如水会館の隣です)

報告者: Prof. Sir Michael Marmot (University College London)

報告タイトル(仮題): "Health Equity and Social Justice"

共催: HIAS/規範経済学研究センター

・「AMED-RISTEX ヘルシーエイジングシンポジウム」(2018.2.26~27 会場: 日本橋ライフサイエンスハブ)が開催され、JAGES HEART(日本老年学的評価研究: 健康の公平性評価・対応ツール)を用いた市町村支援研究と題して、JAGES の取り組みを紹介しました

2018.2.27 「社会にインパクトをもたらす研究とは何か~健康長寿・疾病予防の観点から~」

近藤克則: JAGES HEART(日本老年学的評価研究: 健康の公平性評価・対応ツール)を用いた市町村支援研究.

・スポーツ庁の資料で JAGES の成果が紹介されました

地域におけるスポーツ振興の取組について 平成 29 年 12 月 8 日 スポーツ庁の中で JAGES の成果が紹介されました。

・「岩沼プロジェクト」シンポジウムが開催されました <https://www.jages.net/iwanuma/>

【日時】 2018 年 2 月 25 日(日) 13 時 30 分~17 時 00 分

【場所】 AP 東京八重洲通り 7 階 P ルーム

【題目】 「-災害、ソーシャル・キャピタルと健康-東日本大震災からの示唆」

【内容】

- ① 開会の挨拶
近藤克則: 千葉大学予防医学センター・教授, 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・老年学評価研究部長
- ② ビデオメッセージ
Ichiro Kawachi: ハーバード大学公衆衛生大学院・教授
- ③ 東日本大震災で被災した自治体の首長としての経験 今後の対応への提言
井口経明様: 前宮城県岩沼市長
- ④ 震災被害による認知機能低下とソーシャル・キャピタルを活用した予防の可能性
引地博之: ハーバード大学公衆衛生大学院・研究員
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 被災と双曲割引・岩沼プロジェクト経済実験の知見から
・澤田康幸(東京大学大学院経済学研究科・教授、アジア開発銀行 ADB チーフエコノミスト)
- ⑦ 質疑応答
- ⑧ 岩沼プロジェクト総論5年間のプロジェクトから得られた減災に向けた示唆
相田潤: 東北大学大学院歯学研究科・准教授
- ⑨ 質疑応答
- ⑩ パネルディスカッション・討論
(進行)小坂健: 東北大学大学院歯学研究科・教授
(パネリスト)近藤克則、澤田康幸、相田潤、坪谷透、引地博之
- ⑪ 閉会の挨拶
近藤克則: 千葉大学予防医学センター・教授, 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター・老年学評価研究部長
- ⑫ 閉会
- ⑬ 懇親会

・JAGES 研究会が開催されました

- 1) 2018年3月18日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟で、3月の定例研究会が行われ、約37名が参加しました
- 2) 2018年2月24日、東京医科歯科大学 M&D タワー9階大学院講義室4で、2月の定例研究会が行われ、約40名が参加しました
- 3) 2018年1月27日、東京大学医学部2号館本館1階小講堂で、1月の定例研究会が行われ、約41名が参加しました
- 4) 2017年12月17日、東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟で、12月の定例研究会が行われ、約50名が参加しました

・プレスリリースが発行されました

各プレスリリースは、JAGES のホームページ、プレスリリース: https://www.jages.net/about_jages/puress/ をご覧ください。

- 1) プレスリリース 129-17-22
「健康交流の家(交流の場)」の利用で、社会的交流の機会が3~6割増(細川陸也)
- 2) プレスリリース 130-17-23
地域活動参加で認知症リスク22%減 役割を担うとさらに19%減
~高齢者10年間の追跡調査~(根本裕太)

- 3) プレスリリース 131-17-24
～日英比較研究より～日本人高齢者の長生きのために改善の余地の大きいポイント
・男女ともに、高齢者では「やせ」(低体重)からの脱却を
・男性では、友人との交流を増やし、喫煙を減らすこと (相田潤)
- 4) プレスリリース 134-17-26
口の渇きがある男性 転倒リスク 1.41 倍 お茶などでむせる女性 転倒リスク 1.64 倍(持田悠貴)
- 5) 東北大学でのプレスリリースで紹介されました(2017.12.12 11:00)
東日本大震災による死亡リスクが明らかに-震災当日とその後 3 年間-(相田潤)
<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2017/12/press20171212-02.html>
- 6) プレスリリース 135-17-27
高齢者の抑うつリスク運動が盛んな地域に暮らすだけで低下
～参加者が地域に 1 割多いと、男性で 11%、女性で 4%のリスク減～(辻大士)
- 7) プレスリリース 137-17-29
健診データとフレイル(虚弱)の関連 高アルブミン値、低ヘモグロビン値、
低 HDL コレステロール値、高 Hb1Ac 値 でリスク 1.4～2.6 倍(ケイブル典子)
- 8) プレスリリース 124-17-17
予防接種していない高齢者 2つ以上のグループ参加でインフルエンザにかかるリスク約2倍(女性で)(菖蒲川由郷)
- 9) プレスリリース 125-17-18
子ども期の生活が良いと、高齢期の生活機能も良いか? 世代で異なる可能性(村山洋史)
- 10) プレスリリース 126-17-19
高齢者のグループ活動 メンバー多様化で健康感の良い人 13%増(財津將嘉)
- 11) プレスリリース 127-17-20
社会との多様なつながり方がある人は認知症発症リスクが半減(斎藤民)
- 12) プレスリリース 128-17-21
子ども時代の貧困で高齢期の野菜不足リスク 1.4 倍に～給食で格差緩和か?～
(柳奈津代, 藤原武男)

・プレス発表が行われました

- 1) 2018 年 3 月 16 日(金)、日本福祉大学名古屋キャンパス 7A にて、記者に向けたプレス発表会が行われ、9 つのプレスリリース(No.129-17-22～No.137-18-29)が紹介されました。
- 2) 2017 年 12 月 8 日、日本福祉大学名古屋キャンパス 7A にて、記者に向けたプレス発表会が行われ、4 プレスリリース(No. 124-17-17～127-17-20)が紹介されました

2. 主な研究成果発表

<書籍>

- 1) 齊藤雅茂:高齢者の社会的孤立と地域福祉(計量的アプローチに基づく測定・評価・予防),単行本,P232,明石書店,2018.03.24,ISBN-10: 4750346543,ISBN-13: 978-4750346540.
- 2) 近藤克則:インタビュー認知症にやさしいコミュニティの創出.日本医療政策機構, マツキョングローバルヘルス(著者).イチロー・カワチ, K. Viswanath, 近藤尚己(監修).「認知症の社会的処方箋 認知症にやさしい社会づくりを通じた早期発見と早期診断の促進に向けた白書」: 74-84, 日本イーライリリー株式会社, 2017 (https://www.hgpi.org/report_events.html?article=747) (https://www.lilly.co.jp/_Assets/pdf/pressrelease/2017/17-56_material.pdf)

<論文等・英文>

- 1) Saito T, Kondo N, Shiba K, Murata C, Kondo K:Income-based inequalities in caregiving time and depressive

- symptoms among older family caregivers under the Japanese long-term care insurance system: a cross-sectional analysis. PLOS ONE, PONE-D-17-12559R1-(EMID:7adefdb9e03a1504)
- 2) Li X, Buxton O, Hikichi H, Haneuse S, Aida J, Kondo K, Kawachi I. Predictors of Persistent Sleep Problems among Older Disaster Survivors: A Natural Experiment from the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami. *Sleep* (in press)
 - 3) Sato Y, Aida J, Tsuboya T, Shirai K, Koyama S, Matsuyama Y, Kondo K, Osaka K: Generalized and particularized trust for health between urban and rural residents in Japan: A cohort study from the JAGES project. *Social Science & Medicine*. 2018;202:43-53.
 - 4) Gero K., Kondo K, Kondo N, Shirai K, Kawachi I: Associations of relative deprivation and income rank with depressive symptoms among older adults in Japan. *Social Science & Medicine*. 2017;189: 138-144.
 - 5) Saito J: Exploring 2.5-year trajectories of functional decline in older adults by applying a growth mixture model and the frequency of outings as a predictor: 2010–2013 JAGES longitudinal study. *Journal of Epidemiology*.
 - 6) Mochida Y, Yamamoto T, Fuchida S, Aida J, Kondo K: Does poor oral health status increase the risk of falls?: The JAGES Project Longitudinal Study. *PLoS One*. 2018 Feb 1;13(2):e0192251. doi: 10.1371/journal.pone.0192251. eCollection 2018.
 - 7) Cable N, Hiyoshi A, Kondo N, Aida J, Sjöqvist H, Kondo K: Identifying frail-related biomarkers among community-dwelling older adults in Japan: A research example from the Japan Gerontological Evaluation Study. *Journal: Biomed Research International*, 2017 (in press).
 - 8) Tsuji T, Miyaguni Y, Kanamori S, Hanazato M, Kondo K: Community-level sports group participation and older individuals' depressive symptoms. *Medicine & Science in Sports & Exercise* (in press)
 - 9) Nemoto Y, Saito T, Kanamori S, Tsuji T, Shirai K, Kikuchi H, Maruo K, Kondo K, Arai T: An additive effect of leading roles on the association between social participation and dementia onset among Japanese older adults: The AGES cohort study. *BMC Geriatrics - BGTC-D-17-00347R2*
 - 10) Aida J, Cable N, Zaninotto P, Tsuboya T, Tsakos G, Matsuyama Y, Ito K, Osaka K, Kondo K, Marmot MG, Watt RG: Social and Behavioural Determinants of the Difference in Survival among Older Adults in Japan and England. *Gerontology* 2018. DOI:10.1159/000485797 (in press)

<in press ⇒ 掲載されました>

- 1) Yanagi N, Hata A, Kondo K, Fujiwara T: Association between childhood socioeconomic status and fruit and vegetable intake among older Japanese: The JAGES 2010 study. *Prev Med*. 2018 Jan;106:130-136. doi: 10.1016/j.ypmed.2017.10.027. Epub 2017 Oct 31.
- 2) Aida J, Hikichi H, Matsuyama Y, Sato Y, Tsuboya T, Tabuchi T, Koyama S, Subramanian SV, Kondo K, Osaka K, Kawachi I: Risk of mortality during and after the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami among older coastal residents. *Scientific Reports* 2017;7(1):16591.DOI:10.1038/s41598-017-16636-3
- 3) Sato Y, Aida J, Kondo K, Tsuboya T, Watt RG, Yamamoto T, Koyama S, Matsuyama Y, Osaka K: Tooth Loss and Decline in Functional Capacity: A Prospective Cohort Study from the Japan Gerontological Evaluation Study. *J Am Geriatr Soc*. 2016 Nov;64(11):2336-2342. doi: 10.1111/jgs.14324. Epub 2016 Sep 9.
- 4) Zaitu M: Participation in community group activities among older adults: Is diversity of group membership associated with better self-rated health?. *Journal of Epidemiology*. 2017 (in press)

<論文等・和文>

- 1) 長嶺由衣子, 近藤克則: ライフコースの観点からみたコホート研究とその成果. *週刊医学のあゆみ*, 2018; 264(4): 319-322
- 2) 岡部大地, 辻大士, 近藤克則: 高齢者総合機能評価は健診よりも健康寿命喪失を予測する: JAGESコホート研究. *日本老年医学会誌* (印刷中)
- 3) 近藤克則, 亀田義人: 特集-健康格差-貧困と精神医療, 批評社, PSYCHIATRY, 2017; 88: 32-40
- 4) 渡邊良太, 竹田徳則, 林尊弘, 金森悟, 辻大士, 近藤克則: フレイルから改善した地域在住高齢者の特徴:

JAGES縦断研究. 総合リハ.

- 5) 宮國康弘, 佐々木由理, 辻大士, 亀田義人, 横山芽衣子, 近藤克則: 地域診断支援システム開発のための多地域大規模疫学調査の概要. 新情報 2017; 105: 27-37
- 6) 細川陸也, 近藤克則, 伊藤美智予, 宮國康弘, 水谷聖子, 後藤文枝, 阿部吉晋, 柘植由美, 半田裕子, 尾島俊之: 研究報告「健康交流の家」の利用による健康への効果検証, Effect of Home for Health care on Health Improvement, Bulletin of Social Medicine, Vol.34(2) 2017
- 7) 井手一茂, 宮國康弘, 中村恒穂, 近藤克則: 個人および地域レベルにおける要介護リスク指標とソーシャルキャピタル指標の関連の違い: JAGES2010横断研究. 厚生指標(平成30年4月号掲載予定)
- 8) 近藤尚己: 【特集 不健康の社会的要因と責任の所在】健康の自己責任論は不毛 「社会的処方」の制度化で対応を. 月刊保団連 No.1252:10-15, 2017
- 9) 相田潤: 【特集 不健康の社会的要因と責任の所在】歯科疾患における健康格差 勤勉な日本人と自己責任論. 月刊保団連 No.1252:22-27, 2017

<講演>

- 1) スポーツ庁 スポーツ審議会健康スポーツ部会(第2回)開催
(2017.11.27 10:00~12:00 文部科学省東館3階1特別会議室)
スポーツによる高齢者の介護予防と政策展開に関する提言~JAGES project2017 までのエビデンスをもとに~
JAGES project 運動疫学ワーキンググループ: 金森悟, 辻大士, 甲斐裕子, 山北満哉, 林尊弘, 菊池宏幸
JAGES project 代表: 近藤克則
- 2) 平成29年度 神戸市 地域活動実践者向け介護予防講演会 地域元気力アップ講演会
(2017.11.10 14:00~15:30 長田区新長田勤労市民センター別館ピフレホール大ホール)
テーマ: 地域のつながりで健康寿命を延ばす! ~『情けは人の為ならず』を実践しよう~
講師: 近藤克則 「健康長寿なまちを作るためには?」

<研究会>

- 1) 日本経済政策学会関東部会・研究会
(2017.12.25 青山学院大学 17号館 307教室)
芦田登代: 双曲割引は健康行動にどのように影響するか
- 2) 特別セミナー「社会疫学とは何か」
(2017.11.24 16:00~18:00 東京医科歯科大学 M&D タワー2階 鈴木章夫講堂)
第I部
1. 「社会疫学とは」
千葉大学 近藤克則教授
第II部
2. 「『社会疫学<上・下>』の読みどころ解説」
岡山大学 高尾総司講師
東京医科歯科大学 藤原武男教授
東京大学 近藤尚己准教授
3. 「社会疫学に対する日本の貢献と展望」
ハーバード公衆衛生大学院 イチロー・カワチ教授

<学会発表>

- 1) 平成30年日本自殺総合対策学会(2018.3.15)
会場: 星陵会館(東京都千代田区)
テーマ: 自殺総合対策の新時代を拓く
学術部会 会議室3A (2018. 3.15 15:00~15:45)

- (1) 中村恒穂:地域レベルのソーシャル・キャピタルとうつ割合と自殺率の関係
- 2) 第 28 回日本疫学会学術総会(2018.2/1~3)
開場:コラッセふくしま(福島県福島市)
テーマ:災害と疫学
- (1) JE 編集委員会企画 16:30~18:30 第 1 会場[多目的ホール]2/1
『疫学研究に求められる観察研究の報告ガイドライン』
① 相田潤:「横断研究」
- (2) 奨励賞受賞者講演 16:00~17:00 第 1 会場[多目的ホール]2/2
① 相田潤:A-01 集団の健康の健康格差と決定要因の研究
- (3) シンポジウム 29:00~11:00 第 1 会場[多目的ホール]2/3
座長:尾島俊之:『震災時の健康課題とエビデンス』
- (4) 将来構想検討委員会企画 14:45~16:15 第 1 会場[多目的ホール]2/3
座長:玉腰暁子:『みんなで語ろう 10 年後の疫学会』
① 玉腰暁子:「疫学会のダイバーシティを高める」
② 近藤尚己:「国際化を推進する」
- (5) 一般口演(1) 13:00~14:00 第 1 会場[多目的ホール]2/2
『優秀演題賞候補セッション』
① 雨宮愛理:O-01 地域の social capital と要介護度改善の関連は social capital の種類及び個人の社会特性により異なる:JAGES.「優秀演題賞受賞」
- (6) Oral Session(2) 15:15~15:55 第 2 会場[中会議室 401]2/2
座長:藤原武男:“Cancer/ Maternal and child health”
- (7) 一般口演(4) 9:00~10:00 第 2 会場[中会議室 401]2/3
『生活習慣病・健康行動』
① 芦田登代:O-19 現在バイアスと健康行動との関連 —被災地のパネルデータによる再検証
- (8) 一般口演(6) 11:10~12:10 第 2 会場[中会議室 401]2/3
『高齢者保健』
① 辻大士:O-27 多様な都市度に適用可能な要支援・要介護リスク評価尺度の開発:JAGES コホート研究
② 長谷田真帆:O-32 地域診断データ活用と組織連携に関する市町村への支援と高齢者の死亡リスク:JAGES 準実験研究
- (9) 一般口演(10) 14:30~15:20 第 2 会場[中会議室 401]2/3
座長:尾島俊之:『精神保健・社会疫学』
① 尾島俊之:O-48 地域単位でみた受援力、近所づきあい等と自殺死亡率の関連
② 中村恒穂:O-51 日常生活圏域ニーズ調査から見たソーシャルキャピタルとうつ割合と自殺率の関係
③ 佐々木由理:O-52 被災者の性別にみた社会的サポートと高齢者のうつ発症—JAGES 2010-13 縦断分析—
- (10) Poster Session(4) 13:45~14:30 ポスター会場[企画展示室]2/2
“Gerontology and Geriatrics/ Physical activities”
① Tami Saito : P-019 Association between frailty, subjective cognitive impairment, and 3-year incident disability.
② Seungwon Jeong: P-020 Correlations between forgetfulness and social participation: region-revel diagnosing indicator.
- (11) ポスターセッション(8) 16:15~17:00 ポスター会場[企画展示室]2/2
座長:中村美詠子:『精神保健』
① 中村美詠子:P-042 一般勤労者における自閉症形質と栄養素摂取量の関連
- (12) ポスターセッション(10) 15:30~16:15 ポスター会場[企画展示室]2/2

『栄養疫学②』

- ① 柳奈津代:P-056 子ども期の逆境体験と高齢期の野菜・果物摂取の関連:JAGES2013 横断研究
- (13) ポスターセッション(15) 15:30~16:15 ポスター会場[企画展示室]2/2
座長:村田千代栄:『社会疫学』
- ① 村田千代栄:P-088 ソーシャルサポートと認知症発症の関連 ~AGES プロジェクト
- ② 齊藤雅茂:P-089 地域単位の健康関連ソーシャル・キャピタル指標の外的妥当性;二時点の大規模調査データより
- ③ 菖蒲川由郷:P-090 地域のソーシャルキャピタルと閉じこもりの関連 ~JAGES 新潟研究より~
- ④ 赤崎美冬:P-091 幼少期の社会経済状態と高齢期のフレイル状態の関連:JAGES2016 による横断研究
- ⑤ 野口泰司:P-092 社会的孤立の要介護リスクは地域のソーシャルキャピタルによって異なるのか: JAGES コホート研究
- (14) ポスターセッション(19) 10:00~10:45 ポスター会場[企画展示室]2/3
座長:近藤克則:『高齢者保健①』
- ① 近藤克則:P-115 日本老年学的評価研究(JAGES)2010-2016 コホートプロファイル
- ② 横山芽衣子:P-116 地域サロン事業参加が多い市町村では生活機能低下割合が少ないのか
- ③ 村山洋史:P-119 社会経済状態と高齢期の生活機能の軌跡パターン
- (15) ポスターセッション(20) 10:45~11:30 ポスター会場[企画展示室]2/3
座長:近藤尚己:『高齢者保健②・健康運動』
- ① 近藤尚己:P-122 市町村職員への地域診断データ活用と組織連携支援に関する準実験研究:高齢者の外出と活動参加への効果
- ② 長嶺由衣子:P-126 高齢者におけるメタボリック症候群の社会経済格差 -JAGES2010 横断健診データ
- (16) ポスターセッション(24) 13:45~14:30 ポスター会場[企画展示室]2/3
『歯科保健』
- ① 梅森幸:P-154 高齢者の受動喫煙と歯の喪失の関係:JAGES 横断研究
- 3) グローバルヘルス合同大会 2017(2017.11.24~26)
第 58 回日本熱帯医学会大会・第 32 回日本国際保健医療学会学術大会・第 21 回日本渡航医学会学術集会 合同大会
会場:東京大学本郷キャンパス内 安田講堂・医学部 3 号館、医学部教育研究棟、山上会館 等
テーマ:思いは一つ:健康格差の改善 (One Wish, Narrow the Health Gap)
【シンポジウム(国際)】
(2017.11.26 10:30 ~ 12:00)
会場:第 3 会場 医学部 1 号館 1 階 SC110
テーマ:国 16 口腔の健康格差:いかにして改善するか The Oral Health Gap: Creating a Better Future
(1)国 16-2 近藤克則: 健康格差社会への処方箋 Prescriptions for Health Gap Society.抄録集p152
(2)国 16-3 相田潤: 口腔の健康格差に関するエビデンス Evidence relating to oral health inequalities. 抄録集p153
【一般口演】
国口 7 地域保健・学校保健・思春期保健 2017.11.26 9:00 ~ 10:30
会場:第 4 会場 医学部 1 号館 3 階 NC309
(1)国口 7-5 田代藍, 佐々木由理, 野崎成功真, 菖蒲川由郷: ミャンマーにおける高齢者の衛生設備の共有状況に違いが生じる要因分析 Causes of Sanitation Inequality among the Elderly in Myanmar. 抄録集p230
国口 9 感染症・救援・災害 2017.11.26 10:30 ~ 12:00

会場: 第 4 会場 医学部 1 号館 3 階 NC309

(1) 国口 9-8 Sasaki Yuri, Aida Jun, Tsuji Taishi, Miyaguni Yasuhiro, Tani Yukako, Koyama Shihoko, Matsuyama Yusuke, Sato Yukihiro, Kakimoto Kazuhiro, Kondo Katsunori: Does the change of neighborhood tie of older survivors in a disaster area associate with the incidence of depressive symptoms? A longitudinal data analysis. 抄録集p241

4) WONCA ASIA PACIFIC REGIONAL CONFERENCE 2017 (2017.11.1~4)

THE ROYAL CLIFF HOTELS GRORP, PATAYA, THAILAND

【Poster Presentation】

(1) Watanabe Y, Saka N, Shingai S, Matsukuma H, Yoshizawa E, Okada T, Kondo K : Psychosocial factors that influence the health of dialysis patients. (P13-5)

5) 第 76 回日本公衆衛生学会総会 (2017.10.31~11.2)

会場: 宝山ホール(鹿児島県文化センター)・かごしま県民交流センター・歴史資料センター黎明館

テーマ: 明治維新と薩摩と公衆衛生～公衆衛生の黎明期を支えた地から未来への発信～

特別プログラム

【優秀口演賞選考会】

(2017.10.31 16:10~18:10 第 5 会場 かごしま県民交流センター中央 1・2F 県民ホール)

(1) 演者: 佐々木由理 社会的サポートは被災後の高齢者のうつ発生を抑制するか-JAGES 2010-13 縦断分析-「最優秀口演賞受賞」

(2) 演者: 田代藍 地域のソーシャル・キャピタルと高齢男性個人の喫煙との関連: JAGES2016 横断調査より. 「口演賞受賞」

【シンポジウム 17】(2017.11.1 8:50~10:20 第 2 会場 鹿児島県文化センター2F 第 3 会議室)

テーマ: 生活保護受給者を対象とした健康格差対策の今後: データヘルス計画の活用等を見据えて

座長: 近藤尚己

演者: 近藤尚己 健康格差対策の考え方と注意点: 生活保護受給者への対応を例に

【シンポジウム 18】

(2017.11.1 8:50~10:20 第 9 会場 かごしま県民交流センター東棟 4F 大研修室第 3)

テーマ: 子どもの貧困と健康: 行政と研究者のコラボはどうすればできるか?

座長: 藤原武男

演者: 藤原武男 子どもの貧困と健康: 何を、どうすべきか?

【シンポジウム 19】

(2017.11.1 8:50~10:20 第 10 会場 かごしま県民交流センター東棟 4F 大研修室第 4)

テーマ: 東日本大震災からの教訓 震災による健康被害の社会的決定要因

座長: 小坂健

座長: 近藤克則

演者: 小坂健 大学と自治体のコラボレーションのために必要なこと

演者: 近藤克則 日本老年学的評価研究(JAGES)と岩沼プロジェクトの概要と意義

演者: 坪谷透 東日本大震災における健康被害の社会的決定要因: 宮城県岩沼市からの報告

演者: 井口経明 東日本大震災で被災した自治体の首長としての経験、今後の対応への提言

【シンポジウム 21】

(2017.11.1 10:30~12:00 第 2 会場 鹿児島県文化センター2F 第 3 会議室)

テーマ: 公的統計を用いた健康格差指標のモニタリングと対策への活用に向けて

座長: 近藤尚己

演者: 近藤尚己 職業・産業による健康格差の変遷: 都道府県の経済動向との関連

【シンポジウム 27】

(2017.11.1 10:30~12:00 第10会場 かがしま県民交流センター東棟 4F 大研修室第4)

テーマ:地域自殺対策計画の推進に向けてー関連制度・施策と自殺対策の連動

座長:本橋豊

演者:近藤克則 地域包括ケアシステムと自殺対策の連動

演者:子どもの自己肯定感とメンタルヘルスー自殺対策との関連(藤原武男)

【シンポジウム30】(2017.11.1 13:20~14:50 第6会場 かがしま県民交流センター西棟 2F 中ホール)

テーマ:ポジティブ心理要因と健康の関係:職域・地域のポジティブ資源に着目して

座長:尾島俊之

演者:大平哲也 笑いと心身の健康ー震災後の住民における笑いの維持に関連する因子についてー

演者:白井ころろ 地域のポジティブ資源と健康:地域の健康づくりにおける活用と醸成を考える

【シンポジウム39】

(2017.11.2 9:00~10:30 第10会場 かがしま県民交流センター東棟 4F 大研修室第4)

テーマ:地域における歯科保健医療サービス提供困難者の実態把握と今後の対策ー歯科口腔保健の
推進に関する基本的事項の中間評価にむけての取り組みー

座長:大島克郎

演者:小坂健 老人保健施設入所高齢者の歯科口腔保健に関する状況

一般演題 口演

【第1分科会 疫学・保健医療情報】

(2017.11.2 11:00~12:00 第4会場 鹿児島県文化センター3F 第6会議室)

(1) 赤崎美冬:幼少期の社会経済状態と老年期のフレイル状態の関連:JAGES2016 調査による横断研究(O-0105-2)抄録集 p285.

【第3分科会 生活習慣病・メタボリックシンドローム】

(2017.10.31 16:10~17:10 第2会場鹿児島県文化センター2F 第3会議室)

(1) 長嶺由衣子:かかりつけ医がいる高齢者は血圧・脂質コントロールがよいか:JAGES 横断研究(O-0303-3)抄録集 p292.

【第4分科会 保健行動・健康教育】

(2017.11.1 16:30~17:30 第2会場 鹿児島県文化センター2F 第3会議室)

(1) 草間太郎:高齢者の義歯の清掃習慣と呼吸器疾患との関連:JAGES プロジェクト横断研究(O-0402-3)抄録集 p301.

【第6分科会 高齢者の QOL と介護予防】

(2017.10.31 15:10~16:10 第12会場 鹿児島市中央公民館 1F ホール)

(1) 花里真道:高齢者の閉じこもりと地域の歩道の関連:JAGES 横断研究(O-0601-2)抄録集 p307.

(2017.10.31 16:10~17:10 第12会場 鹿児島市中央公民館 1F ホール)

(2) 平井寛:運転免許保有経験のある高齢者の運転停止と地域要因の関連の検討(O-0602-1)抄録集 p308.

(2017.11.1 13:20~14:20 第7会場 かがしま県民交流センター東棟 3F 大研修室 第1)

(3) 五十嵐彩夏:高齢者の目・耳・口の機能低下とソーシャルネットワークの関連:JAGES 横断研究(O-0603-2)抄録集 p309.

(2017.10.31 17:10~18:10 第12会場 鹿児島市中央公民館 1F ホール)

(4) 谷友香子:高齢者の孤食と死亡との関連:JAGES コホートデータ(O-0604-1)抄録集 p310.

【第8分科会 地域社会と健康】

(2017.11.1 16:20~17:20 第7会場 かがしま県民交流センター東棟 3F 大研修室 第1)

座長:近藤克則

(1) 尾島俊之:全国の市町村における健康格差対策等の変化(O-0801-4)抄録集 p313.

(2) 白井ころろ:日本人高齢者におけるソーシャル・キャピタル指標と死亡・生活習慣との関連(O-0801-5)抄

録集 p314.

【第 12 分科会 感染症】

(2017.11.1 16:20~17:20 第 8 会場 かがしま県民交流センター東棟 3F 大研修室 第 2)

- (1) 菖蒲川由郷:高齢者の肺炎球菌ワクチン接種割合と肺炎入院割合の検討~JAGES2016 調査~(O-1203-2)抄録集 p321.

【第 15 分科会 公衆衛生従事者育成】

(2017.11.1 15:20~16:20 第 4 会場 鹿児島県文化センター3F 第 6 会議室)

- (1) 長谷田真帆:自治体職員のソーシャル・キャピタルと施策化能力の向上:JAGES 担当者縦断調査(O-1501-1)抄録集 p331.

【第 17 分科会 公衆栄養】

(2017.11.1 9:30~10:30 第 3 会場 鹿児島県文化センター3F 第 5 会議室)

- (1) 中村美詠子:勤労者における等価所得、等価食費と栄養素摂取量の関連(O-1702-1)抄録集 p335.

【第 23 分科会 保健医療介護サービス研究】

(2017.10.31 15:20~16:20 第 3 会場 鹿児島県文化センター3F 第 5 会議室)

- (1) 八木明男:高齢者における浴槽入浴頻度と新規要介護認定との関連-JAGES コホート研究(O-2302-3)抄録集 p344.
- (2) 古賀千絵:高齢者における身体的虐待と要介護認定の関係について-JAGES 縦断研究-(O-2302-5)抄録集 p345.
- (2017.11.1 16:20~17:20 第 4 会場 鹿児島県文化センター3F 第 6 会議室)
- (3) 芦田登代:高齢者の幸福度と介護や社会経済的要因:JAGES2013 横断分析(O-2303-2)抄録集 p345.
- (4) 雨宮愛理:要介護状態改善の社会経済格差:JAGES コホート研究 2010-2014(O-2303-3)抄録集 p346.

一般演題 示説(ポスター)

【第 2 分科会 ヘルスプロモーション】

(2017.10.31 14:00~15:00 示説(ポスター)会場(かがしま県民交流センター6F ギャラリー)

- (1) 柳奈津代:高齢者の認知症リスクを含む要介護に関わる要因と不眠の関連:JAGES2016 横断研究(P-0201-3)抄録集 p400.
- (2) 渡邊路子:高齢者の社会参加と不眠との関連:JAGES2016 横断研究(P-0201-4)抄録集 p400.

【第 6 分科会 高齢者の QOL と介護予防】

示説(ポスター)会場(かがしま県民交流センター6F ギャラリー)

(2017.11.1 14:00~15:00)

- (1) 加藤清人:通いの場参加がきっかけで新たに始めた運動有無と心理社会面との関連 -JAGESproject (P-0601-4)抄録集 p492.

(2017.11.1 15:00~16:00)

- (2) 渡邊良太:コホート研究によるフレイル改善地域在住高齢者の特徴:JAGES プロジェクト(P-0602-2)抄録集 p494.

(2017.11.1 9:00~10:00) 座長:岡田栄作

- (3) 岡田栄作:地域在住一般高齢者の IADL 低下と食事準備の方法との関連~JAGES2016~(P-0605-1)抄録集 p502.

(2017.10.31 14:00~15:00)

- (4) 高杉友:高齢者の最長職と認知症発症の関連:JAGES 縦断コホート研究(P-0607-10)抄録集 p509.

(2017.11.2 10:00~11:00)

- (5) 林尊弘:通いの場参加者の参加後の社会参加状況と主観的健康感との関連:JAGES プロジェクト(P-0610-1)抄録集 p513.「ポスター賞受賞」
- (6) 竹田徳則:通いの場で実施されているプログラムの傾向-JAGES プロジェクト参加 8 市町の分析(P-0610-6)抄録集 p514.

(2017.10.31 16:00~17:00)

(7) 辻大士:政令指定都市 K 市における「住民主体の通いの場」の介護予防効果:1 年間の縦断研究(P-0611-7)抄録集 p517.

(8) 荒井遼:地域介護予防事業の介護予防効果の評価(P-0612-2)抄録集 p518.

【第 8 分科会 地域社会と健康】(2017.11.2 11:00~12:00)

(1) 加賀田聡子:地域レベルのソーシャルキャピタルと高齢者の IADL 低下:JAGES 縦断研究(P-0806-8)抄録集 p546.

【第 23 分科会 保健医療介護サービス研究】(2017.11.1 15:00~16:00)

(1) LING LING:高齢者の趣味の種類と認知症を伴う要介護認定との関連:JAGES 縦断コホート研究(P-2303-5)抄録集 p679.

6) 10th European Public Health Conference

(Oral presentation, 3.M.2,Stockholmmasse, Stockholm, Sweden, 2017.11.02, Online Abstract; Eur JPublic Health 2017; vol. 27 Suppl 3, p.84-85)

Yanagi N, Fujiwara T, Hata A, Kondo K :Association between childhood socioeconomic status and sleep quality among old age in Japan.

<受賞>

1) 第 76 回日本公衆衛生学会総会

(2017.10.31 16:10~18:10 第 5 会場 かがしま県民交流センター中央 1・2F 県民ホール)

「最優秀口演賞受賞」佐々木由理:社会的サポートは被災後の高齢者のうつ発生を抑制するか-JAGES 2010-13 縦断分析-

「口演賞受賞」田代藍:地域のソーシャル・キャピタルと高齢男性個人の喫煙との関連:JAGES2016 横断調査より

「ポスター賞受賞」林尊弘:通いの場参加者の参加後の社会参加状況と主観的健康感との関連:JAGES プロジェクト

<メディア掲載・放送等>

1) ラジオ番組連動ウェブサイト TBS ラジオ「荻上チキ・Session22」, 知のネットワーク -SYNODOS-, で紹介されました(2018.03.28)

世界糖尿病デーに知る、糖尿病のいま

大杉満×近藤克則×荻上チキ

2) ELSA との比較調査が日本歯科新聞で紹介されました(2018.3.27)

「家族や友人とのつながり」が長生きの要因-東北大らが 10 年間追跡調査(相田潤)

3) 宮崎日日新聞(2018.03.15)、佐賀新聞(2018.03.13)、長崎新聞(2018.03.12)、河北新報(2018.03.08)、沖縄タイムス(2018.03.07)に掲載されました。

高齢者の「多剤処方」問題 口のトラブルで転びやすく? 口腔×転倒の記事(山本龍生)

4) 岩沼プロジェクトや JAGES が毎日新聞の医療プレミアでシリーズで紹介されました(2018.3.8)

「友だち付き合い」で震災後死亡リスクが半減

東日本大震災7年ー 岩沼プロジェクトから(1)

震災前後のデータを比較した「岩沼プロジェクト」

「友人との交流」が健康に良いことを裏付け

5) NHK BS プレミアム「偉人たちの健康診断」にて、近藤克則教授のコメント・JAGES プロジェクトの成果(武豊サロン動画 <https://www.jages.net/informationdata/movie/>) が紹介されました

放送日:3月7日(水)20:00~20:59 NHK BS プレミアム

6) 朝日新聞デジタル「アピタル」で紹介されました(2018.02.19)

岩沼シンポジウムの紹介

- <https://www.asahi.com/articles/ASL2M4SRDL2MUBQU00S.html>
- 7) 朝日新聞デジタル「アピタル」で紹介されました(2018.02.19)
災害時死亡リスクうつ傾向で約4倍 災害後死亡リスク友人との交流で約半減(相田潤)
<https://www.asahi.com/articles/ASL2M557RL2MUBQU00Z.html>
 - 8) 日経 Goodday で紹介されました(2018.02.18)
高齢者、地域活動で認知症リスク減 役職かどうかでも差(根本裕太)
 - 9) 朝日新聞デジタルで紹介されました(2018.02.17)
災害時死亡リスクうつ傾向で約4倍 災害後死亡リスク友人との交流で約半減(相田潤)
<https://www.asahi.com/articles/ASL2J44FYL2JUBQU00D.html>
 - 10) 毎日新聞で紹介されました。(2018.02.15)
日英比較研究より～日本人高齢者の長生きのために改善の余地の大きいポイント・男女ともに、高齢者では「やせ」(低体重)からの脱却を・男性では、友人との交流を増やし、喫煙を減らすこと(相田潤)
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180215-00000011-mai-soci>
 - 11) 長野県松本市の「市民タイムス」地元の新聞紙で紹介されました(2018.02.05)
地域福祉の役割 再確認 梓川地区つどいに 140 人(宮國康弘)
 - 12) 毎日新聞夕刊で紹介されました(2018.02.03)
給食世代 老後リスク緩和 子ども時代貧困→高齢で野菜不足(柳奈津代, 藤原武男)
<https://mainichi.jp/articles/20180203/dde/041/100/024000c>
 - 13) 朝日新聞デジタル「介護とわたしたち」で紹介されました(2018.1.27 10:08)
高齢者、地域活動で認知症リスク減 役職かどうかでも差(根本裕太)
https://www.asahi.com/articles/ASL1R4R63L1RUBQU017.html?iref=com_apitop
 - 14) 東海 NEWS WEB で紹介されました(2017.12.18 09:56)
社会とつながりで認知症リスク減(斎藤民)
<http://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20171218/3397661.html>
 - 15) 株式会社芳林社(季刊誌) 大介護時代の情報誌 BetterCare(ベターケア) 77号(2017 年秋) p.4-7 で紹介されました(2017.10.31)
特集 地域共生社会をどうつくる?(近藤克則)
インタビュー(中澤まゆみ, ノンフィクションライター)
<http://bettercare.jp/information/information/2958.html>
 - 16) 読売新聞夕刊で紹介されました(2017.11.20)
孤食男性 高死亡リスク(谷友香子)
 - 17) 2017 年 11 月 14 日(火)放送分(TBS ラジオ「荻上チキ・Session-22」22 時～)で紹介されました(2017.11.15 (水) 00:50)
【音声配信】「世界糖尿病デーに知る、糖尿病のいま」大杉満×近藤克則×荻上チキ
【電話ゲスト】近藤克則 (<https://www.tbsradio.jp/ss954/>)
 - 18) 週刊新潮に山本龍生先生のコメントが紹介されました(2017.11.23 日号)
(J) AGES プロジェクトの研究成果(歯数・義歯と認知症・転倒の関係)が掲載されました(山本龍生)
 - 19) 毎日新聞のコラム連載 暮らしの明日で紹介されました(近藤克則)
・私の社会保障論 健康格差社会をどうする(毎日新聞 2017.4.26 東京朝刊)
<https://mainichi.jp/articles/20170426/ddm/016/070/003000c>
・私の社会保障論 格差社会の落とし穴(毎日新聞 2017.5.31 東京朝刊)
<https://mainichi.jp/articles/20170531/ddm/016/070/015000c>
・私の社会保障論 「ゼロ次予防」戦略(毎日新聞 2017.8.9 東京朝刊)
<https://mainichi.jp/articles/20170809/ddm/016/070/016000c>
・私の社会保障論 認知症になりにくいまち(毎日新聞 2017.9.13 東京朝刊)

- <https://mainichi.jp/articles/20170913/ddm/016/070/023000c>
・私の社会保障論 子ども支援の重要性(毎日新聞 2017.10.18 東京朝刊)
- <https://mainichi.jp/articles/20171018/ddm/016/070/064000c>
・私の社会保障論 介護予防の重要性 転びにくいまちづくり(毎日新聞 2017.11.22 東京朝刊)
- <https://mainichi.jp/articles/20171122/ddm/016/070/036000c>
- 20) 読売新聞 夕刊「医療の現場から」で記事が掲載されました(2017.10.17)
【健康格差 解消する施策を】(近藤克則)
- 21) BuzzFeed News Japan で紹介されました(2017.10.16 12:01)
記者: 岩永直子 BuzzFeed News Editor, Japan
自民も野党も幼児教育の無償化を訴える理由 生涯にわたり続く深刻な健康格差
衆議院議員選挙で各党「幼児教育の無償化」を公約として掲げていますが・・・
「幼児教育の無償化は考え方としていいですが、総合的にみて実効性のある制度にしなければなりません」
(近藤克則) <https://www.buzzfeed.com/jp/naokoivanaga/preschool-education>
- 22) 朝日新聞朝刊で紹介されました(2017.10.11)
(1分で知る)うつ:2 仮設暮らし、リスク2倍(佐々木由理)
<http://www.asahi.com/articles/DA3S13173885.html>
- 23) 朝日新聞の医療サイト「アピタル」で紹介されました(2017.10.11 6:00)
シリーズ:うつ 仮設暮らし うつ発症リスクが2倍に(佐々木由理)
<http://www.asahi.com/articles/ASKBB624RKBUBQU011.html>

ニューズレター第45号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<p-tanaka*n-fukushi.ac.jp(田中)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>